

助成受給団体	宮守地区防犯協会
事業の名称	宮守地区 防犯パトロール等事業
実施期間	平成24年8月1日～25年2月28日
事業内容	<p>宮守町内(面積165.4㎡、819世帯)を防犯協会会員が4班編成により、ジャケット・キャップ・青色回転灯等の装備品を着用し、定期及び随時の防犯パトロールの実施と防犯啓発・啓発用グッズ(ティッシュその他)の配布及び広報車(振り込め詐欺に注意・家の鍵かけ・青少年の薬物事故をなくそう等)での防犯啓発活動を実施した。</p> <p>宮守駅駐輪場の自転車施錠状況を確認し、使用者に自転車盗難防止の呼びかけを行った。「子どもと地域の110番の家」の表示が分かりにくい、表示が無い等の意見があったことから、今回新たな「のぼり旗」を配布し木杭等で設置した事で、分かり易い、見易くなったなど住民から評価されている。</p> <p>「全国地域安全運動」期間、購入した8種類の「のぼり旗」を町内主要箇所(国道283号・396号の沿道、金融機関の周辺及び商店街周辺等)に設置し防犯啓発を行った。また、遠野市で開催された平成24年度全国地域安全運動出発式に参加し、防犯活動を実施した。</p> <p>広報車を活用し、防犯広報用テープ(4種類)を廻しながら宮守町内を巡回し広報活動を行った。</p> <p>関連事業として、交通安全協会宮守分会主催の「馬っこ交通安全パレード」に協賛として参加し防犯啓発グッズの配布等を行った。</p>
事業の成果	<p>防犯パトロール車両に青色回転灯やマグネットシートを装着し、防犯協会会員が帽子・ジャケット等を装着することで、防犯協会会員の防犯に対する意識がより強まると共に、定期的に防犯パトロールを実施することで地域住民の防犯意識の向上が感じられた。</p> <p>「全国地域安全運動」出発式に参加し、遠野各地区の防犯協会の活動状況等を聞くことが出来たことで、宮守地区防犯協会の防犯活動に反映できた。</p> <p>「子どもと地域の110番の家」の全戸に「のぼり旗」を設置した事により、見えやすく確認しやすくなり、子供たちの登下校時の声掛け・誘拐等、また、女生徒や女性への声掛け等の事案に対する緊急避難場所として駆け込みやすくなった。また、のぼり旗があることによる犯罪抑止効果も期待できるものとなった。</p> <p>異種協会等の活動に協賛することで、防犯協会活動の行動範囲が広がった。</p>
今後の課題	<p>中山間地域共通の課題であるが、少子高齢化・若者の郷土離れ等、過疎化が一層進む状況であり、防犯協会会員の高齢化に伴う人材不足等が懸念される。</p>

